

---

# ありがとう

紀本 真利亜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ありがとう

### 【Nコード】

N3865D

### 【作者名】

紀本 真利亜

### 【あらすじ】

動物を飼われている方には是非呼んで頂きたいです。

ねえ もう少しかまってよ

ねえ もう少し話しかけてよ

ねえ もう少しボクをみてください

昔はもっと大切にしてくれたでしょ

いっぱい遊んでくれたでしょ

いっぱい話しかけてくれたよね

いっぱい見てくれたよね

どこかに行くときも一緒だったよね

どうして今はダメなの？

どうして？

ボクが言葉しゃべれないから？

ボクが歳をとったから？

どうして？

ボクはキミの言葉わかるよ

キミも歳をとっていくんだよ

ボクはキミの事 今でも大好きだよ

ボクはキミの事 今でも大切なんだよ

ボクにはキミしかないから

さびしいよ

かなしいよ

もう少しでボクはキミと会えなくなるんだよ

もう少しでキミはボクと会えなくなるんだよ

ボクにはわかるんだ

だから今のうちにたくさん

あそぼうよ

はなそうよ

ボクにふれてよ

キミにふれたいんだよ

でもね ボクはわかるんだよ

ボクがいなくなる時 キミは

涙することを

ボクに話しかけてくれる事を

ボクをその手でふれてくれる事を

だってキミはとってもやさしいから

だってキミがボクを見つけてくれたから

ボクがいなくなる時 ボクが

最後のお礼をするよ

キミの瞳をみて

命の大切さをおしえてあげるよ

だって キミの事が大好きだから

だから 今だけはかまってよ

あっ、

キミがボクの事 呼ぶ声がする

ありがとう

今行くよ

ちょっと遅いけど許してね

ありがとう

あたまを撫でてくれて

ありがとう

ボクの名前を呼んでくれて

ありがとう

ボクにふれてくれて

ありがとう

ボクはキミの事が大好きだよ

ボクはキミの出会えて幸せだよ

ボクにはキミしかないんだ

だから ボクの瞳が閉じるまで

もう少し

もう少しだけ



もう少しだけ思い出を作らせてね

（後書き）

昔、犬を飼っていました。まだ子供だった私はその犬に命の重さを最初に教えていただきました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3865d/>

---

ありがとう

2011年1月19日18時22分発行